



Children's Day：授業アイデア（簡単版）

こどもの日（端午の節句）をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. My Carp Streamer：家族のこいのぼりを英語で紹介

小学校・25分

🎯 色と家族を表す英語で、自分の家族のこいのぼりを紹介する。

1. 紙のこいのぼりを家族の人数分作り、好きな色をぬる。
2. This is my father. He is black. のように色と家族を言う練習をする。
3. 棒に貼って、ペアで紹介し合う。

2. 登竜門ストーリーを英語で演じよう

中学・30分

🎯 過去形を使って、鯉が竜になる話を短い劇にする。

1. 本文の第3段落を読み、話の流れを確認する。
2. 班で鯉・滝・竜・ナレーターの役を決める。
3. The carp swam ... It turned into ... などのせりふを書く。
4. 1班2分で発表し、いちばん迫力のあった班を選ぶ。

3. 法律クイズ：こどもの日は誰の日？

中学・15分

🎯 祝日法の文言から、こどもの日の意味を英語で説明できるようにする。

1. 「こどもの日は男の子の日？」「母の日と関係ある？」と問いかける。
2. 祝日法の文言を見せ、children と mothers の2つがキーワードだと確認する。
3. It is a day for all children. It is also a day to thank mothers. を言えるようにする。

4. 世界のこどもの日リサーチ

高校・40分

🎯 国ごとのこどもの日を調べ、比較の表現を使ってプレゼンする。

1. 韓国・中国・台湾・トルコ・メキシコ・国連を班に割り当てる。
2. 日付・始まり・過ごし方をワークシートにまとめる。
3. Japan and Korea both ..., but Turkey ... のように比べる文を3つ書く。
4. 1分で発表し、聞き手は「いちばんまねしたい習慣」を選ぶ。

5. ディベート：ひな祭りも祝日にすべき？

大学・45分

🎯 1948年の国会の議論（女の子が置き去りになる心配・10月1日案）を素材に、公平さと伝統について議論する。

1. advanced を読み、1948年の議論を整理する。
2. 賛成（3月3日も祝日に）と反対に分かれ、論点を準備する。
3. 立論・反論・まとめの順でディベートする。
4. 結論を100語の英語でまとめる。



1. My Carp Streamer : 家族のこいのぼりを英語で紹介

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

色と家族を表す英語（black, red, blue / father, mother, sister など）を使って、自分の家族のこいのぼりを紹介できる。

準備

- こいのぼりの型紙（1人に家族の人数分＋予備）
- 色えんぴつかクレヨン、はさみ、のり
- 割りばしかストロー（棒用、1人1本）
- 本物のこいのぼりか写真
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	こいのぼりの写真を見せ、What's this? と聞く。carp streamer という英語を教え、「5月5日のこどもの日に空を泳ぐ魚」と話す。最初のこいのぼりは黒い鯉1匹だけだったことも紹介する。	写真を見て、carp streamer をまねして言う。	"What's this? It's a carp streamer." "Carp streamers fly in the sky for Children's Day." "Long ago, people flew only one black carp."
展開1	5	色（black, red, blue, green, yellow, pink）と家族（father, mother, brother, sister, grandmother, me）の英語を、カードで練習する。先生のこいのぼりの見本で This is my father. He is black. と言って見せる。	色と家族の英語をまねして言う。	"Black, red, blue. Say it with me." "Father, mother, brother, sister." "Look. This is my father. He is black."
展開2	10	型紙を家族の人数分切り取り、好きな色をぬらせる。できたら棒に上から順に貼らせる。作りながら、先生は What color is your mother? などと声をかける。	家族の人数分のこいのぼりを作り、色をぬって棒に貼る。	"Make carp for your family." "Choose your favorite colors." "What color is your mother?"
まとめ	6	ペアでこいのぼりを見せ合い、This is my ～. He/She is ～. と紹介させる。聞いた子は Nice! と返す。何人かに全体の前で紹介してもらう。	ペアで家族のこいのぼりを英語で紹介し合う。	"Show your carp streamer to your partner." "This is my sister. She is pink." "Who wants to show us?"

板書例

carp streamer

This is my father. He is black.

This is my mother. She is red.

This is me. I am blue.

black / red / blue / green / yellow / pink

father / mother / brother / sister / grandmother

評価のポイント

- 家族と色の英語を使って、自分のこいのぼりを紹介できたか。
- He / She を家族に合わせて使えたか（言えていればよしとし、細かく直さない）。

つまずきへの手だて

- 家族のことを話しながらの子には、ペットや好きなキャラクターのこいのぼりでもよいとする。
- 英語が出てこない子には、色カードと家族カードを机に置き、指さしながら言わせる。
- 工作に時間がかかる子には、型紙を先生が切っておく。

発展

- 基本セット p.8 のぬりえとなぞり書き（carp streamer・dragon・helmet など）に取り組む。
- 基本セット p.6 の迷路（Help the carp swim up the waterfall!）に取り組む。
- How many carp? — Four carp. と数を聞き合う（carp は複数でも carp）。

使う教材

- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）
- 基本セット p.6（迷路）



2. 登竜門ストーリーを英語で演じよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

過去形（swam, turned into, jumped など）を使って、鯉が滝をのぼって竜になる話を短い劇にし、英語で演じられる。

準備

- このサイトの英語ページ本文の第3段落（印刷）と音声
- 役のカード（carp / waterfall / dragon / narrator）
- セリふを書くシート（班に1枚）
- 竜や滝の絵（小道具として使ってもよい）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	英語ページ本文の第3段落を聞かせ、Why a carp? の答えを本文から探させる。a carp swam up a great waterfall and turned into a dragon. の文を板書し、swam (swim の過去形) と turned into (～になった) を確認する。	本文を読み、鯉が竜になった話を確認する。	"Why a carp? Find the answer." "A carp swam up a great waterfall." "Then it turned into a dragon."
展開1	5	班で鯉・滝・竜・ナレーターの役を決めさせる。話の流れを「鯉が滝を見つける→何度も挑戦する→のぼりきる→竜になる」の4場面に分けて板書する。	班で役を決め、4場面の流れを確認する。	"Choose your roles: carp, waterfall, dragon, and narrator." "There are four scenes." "Who is the narrator?"
展開2	10	セリふを書かせる。ナレーターは過去形で話を進め（The carp swam to a big waterfall. It jumped again and again.）、鯉や滝は現在形のセリふでよい（I can do it! / You can't climb me!）。動きもつけて練習させる。	役ごとにセリふを書き、動きをつけて練習する。	"The narrator uses the past tense." "The carp swam to a big waterfall." "The carp can say, 'I can do it!'" "Practice with actions."
まとめ	10	1班2分で発表させる。全部終わったら、いちばん迫力のあった班を拍手で選ぶ。最後に「だから鯉は、明るい未来をもつ強い子のしるしになった」と本文の文で締める。	劇を発表し、ほかの班の劇を見ていちばん迫力のあった班を選ぶ。	"Each group has two minutes." "Which group was the most exciting?" "So the carp became a sign of a strong child with a bright future."

板書例

Why a carp?
A carp swam up a great waterfall and turned into a dragon.

Scene 1 The carp swam to a big waterfall.

Scene 2 It jumped again and again.

Scene 3 It climbed to the top.

Scene 4 It turned into a dragon!

swim → swam / jump → jumped / turn into → turned into
→ a sign of a strong child with a bright future

評価のポイント

- ナレーターのセリふで、過去形を正しく使えたか。
- 班で協力し、話の流れが分かる劇にできたか。
- 聞き手に届く声と動きで演じられたか。

つまずきへの手だて

- セリふが書けない班には、4場面のナレーター文を書いたカードを渡し、鯉や滝のセリふだけ考えさせる。
- 人前で話すのが苦手な生徒は、滝の役（動きが中心）にする。
- 過去形が分からない生徒には、swim → swam / climb → climbed などの一覧を渡す。

発展

- 基本セット p.7 の作文 If I were a carp, I would swim up to _____ because _____. に取り組む。
- 「登竜門」という日本語がこの話から生まれた言葉であることを紹介する。
- 基本セット p.6 の並べかえ（The carp swam up the big waterfall. など）に取り組む。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第3段落）と音声
- 基本セット p.7（作文）
- 基本セット p.6（並べかえ）



3. 法律クイズ：こどもの日は誰の日？

授業手順書（詳細版）／対象：中学／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

祝日法の文言から、こどもの日がすべての子どもの日であり、母に感謝する日でもあることを英語で説明できる。

準備

- 祝日法のこどもの日の文言（「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」）を大きく書いた紙
- このサイトの英語ページ本文の第4段落と音声
- ○×カード（1人1組）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	○×クイズを出す。「こどもの日は男の子の日？」「こどもの日は母の日と関係ある？」と問い、○×カードで答えさせる。答えはまだ言わない。	○×カードでクイズに答える。	“Quiz time! Is Children's Day only for boys?” “Is Children's Day a day for mothers too?” “Show me your card.”
展開1	6	祝日法の文言を見せ、「こども」と「母」の2つがキーワードだと確認する。英語ページ本文の第4段落を聞かせ、for all children, not only boys と a day to thank mothers に線を引かせる。1948年に神戸の子ども約2万7千人がこの祝日を求める署名をしたことも紹介する。	法律の文言と本文を照らし合わせ、キーワードに線を引く。	“Look at the law. Find two key words.” “Children and mothers.” “It is for all children, not only boys.” “About 27,000 children in Kobe asked for this holiday.”
まとめ	5	It is a day for all children. It is also a day to thank mothers. の2文を全員で言い、ペアで1回ずつ言い合う。最後にクイズの答えを確認する。	2文を言えるように練習し、クイズの答えを確かめる。	“It is a day for all children.” “It is also a day to thank mothers.” “Say these two sentences to your partner.”

板書例

Q1. Children's Day is only for boys. → ×

Q2. Children's Day is a day to thank mothers. → ○

祝日法：こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する

It is a day for all children.

It is also a day to thank mothers.

1948 : about 27,000 children in Kobe signed a letter.

評価のポイント

- 法律の文言から、こどもの日の2つの意味を読み取れたか。
- It is a day for all children. It is also a day to thank mothers. を言えたか。

つまづきへの手だて

- 法律の文言がむずかしい生徒には、「こどもを大切にする」「母に感謝する」と言いかえて示す。
- 英文が覚えられない生徒には、板書を見ながら言わせる。

発展

- 基本セット p.7 の作文 Thank you, Mom, for _____. に取り組む。
- Discussion の問い Do you think Children's Day should also be a day to thank mothers? What about fathers? を考える。
- 1948年に5月3日案や10月1日案もあったことを紹介する。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第4段落）と音声
- 基本セット p.7（作文）



4. 世界のこどもの日リサーチ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／40分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

韓国・中国・台湾・トルコ・メキシコ・国連のこどもの日の日付・始まり・過ごし方を調べ、both / but を使って日本と比べる文を書き、1分で発表できる。

準備

- 記事の国くらべ表（韓国・中国・台湾・トルコ・メキシコ・国連）
- ワークシート（日付・始まり・過ごし方・比較文3つの欄）
- 調べ学習用の端末（班に1台）
- アクティビティ集 B5（国くらべ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	「5月5日がこどもの日なのは日本だけ？」と聞き、韓国も5月5日であることを紹介する。ほかの国も調べようと伝え、班に1か国ずつ割り当てる。	韓国の例を知り、担当の国を決める。	“Is Japan the only country with Children's Day on May 5?” “No. Korea also celebrates on May 5.” “Each group will study one country.”
展開1	12	国くらべ表と端末で、担当の国の日付・始まり・過ごし方をまとめさせる。例：トルコの4月23日は、子どもの代表が大統領や大臣の席に座る。出典をメモさせる。	担当の国のこどもの日を3項目でまとめる。	“When is Children's Day in your country?” “When did it start?” “What do children do on that day?”
展開2	10	Japan and Korea both ～, but Turkey ～. のように、日本と比べる文を3つ書かせる。共通点と違いの両方を入れるよう指示する。	both / but を使って比較文を3つ書く。	“Write three sentences to compare with Japan.” “Japan and Korea both celebrate on May 5, but Turkey celebrates on April 23.” “Include a similarity and a difference.”
まとめ	14	1班1分で発表させる。聞き手は「いちばんめしたい習慣」を1つ選び、理由を英語で1文書く。最後に何人かに読ませる。	発表し、めなしたい習慣とその理由を英語で書く。	“Each group has one minute.” “Which custom do you want to try in Japan?” “I want to try ... because”

板書例

Children's Day around the world
 Japan : May 5 (since 1948)
 Korea : May 5 (started on May 1 in 1923)
 China : June 1 (International Children's Day)
 Taiwan : April 4
 Turkey : April 23 (children sit in leaders' seats)
 Mexico : April 30 (piñatas)
 UN : November 20 (World Children's Day)

Japan and ____ both ____, but _____.
 I want to try ____ because ____.

評価のポイント

- 担当の国の3項目を、資料にそって正しくまとめられたか。
- both / but を使って、共通点と違いを書き分けられたか。
- めなしたい習慣について、理由をそえて英語で書けたか。

つまずきへの手だて

- 調べるのに時間がかかる班には、国くらべ表の情報だけでまとめさせる。
- 比較文が書けない生徒には、型の空所に入れる語句（celebrate on ____ / eat ____ / go to ____）を渡す。
- 発表が苦手な生徒は、ワークシートを読む形でよいとする。

発展

- Discussion の問い In Turkey, children take the seats of leaders for a day. Would this be a good idea in Japan? について意見を書く。
- 中国の端午節（ドラゴンボート・ちまき）と日本の端午の節句を比べる。
- 発展英文 Whose Day Is It? を読む。

使う教材

- 記事の国くらべ表
- アクティビティ集 B5（国くらべ）



5. ディベート：ひな祭りも祝日にすべき？

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

1948年の国会の議論（女の子が置き去りになる心配、10月1日案）を発展英文から整理し、ひな祭りを祝日にすべきかを公平さと伝統の観点から英語で議論し、結論を100語でまとめられる。

準備

- このサイトの英語ページの発展英文 Whose Day Is It?（印刷・人数分）
- 記事の「こどもの日の歴史」の節（5月3日案・10月1日案・神戸の署名）
- ディベートの準備シートとタイマー

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「5月5日は国民の祝日なのに、3月3日はなぜ祝日でないのか」と問いかける。ひな祭りが国民の祝日ではないことを確認し、Discussionの問い Should March 3, the Doll Festival, also become a national holiday? を示す。	5月5日と3月3日のちがいについて考える。	"May 5 is a national holiday. What about March 3?" "Should the Doll Festival also be a holiday?" "Let's read about the debate in 1948."
展開1	10	発展英文を読ませ、1948年の議論を整理させる（女の子が置き去りになる心配・軍事的なイメージ・10月1日案・平安時代の宮中行事には武の意味がなかったという指摘・最終的に5月5日が選ばれた理由・法律がすべての子どもと母への感謝を書きこんだこと）。	本文から1948年の論点と結論を整理する。	"What were some lawmakers worried about?" "What date did they propose instead?" "Why did May 5 win in the end?"
展開2	8	賛成（3月3日も祝日に）と反対に分け、論点を準備させる。公平さ（fairness）と伝統（tradition）の両方の観点をいれるよう指示する。	立場ごとに、公平さと伝統の観点から根拠を準備する。	"The for side says March 3 should be a holiday." "Think about fairness and tradition." "What will the other side say?"
展開3	14	立論（各3分）→作戦タイム（2分）→反論（各2分）→まとめ（各1分）の順でディベートを行う。	英語で立論・反論・まとめを行う。	"The for side, please start." "Take two minutes to prepare." "Now give your rebuttal." "Please sum up your points."
まとめ	8	本文の最後の文 A holiday's name may change quickly, yet the customs people practice at home often change much more slowly. を読み、法律と家庭の習慣のずれを短く話し合う。そのうえで結論を100語の英語でまとめさせる。	議論をふり返り、結論を100語の英語で書く。	"Laws can change quickly. Do customs change quickly too?" "Write your conclusion in about 100 words." "Use one point from today's debate."

板書例

Whose Day Is It?

May 5 : for centuries a boys' festival (shobu = respect for martial values)

1948 upper house : girls left out? / military image → October 1?

Heian court festival : no warlike meaning

→ May 5 won (pleasant weather, long tradition)

→ law : for all children + gratitude to mothers

Motion : March 3 should also be a national holiday.

fairness / tradition

評価のポイント

- 1948年の議論の論点と結論を、本文にそって整理できたか。
- 公平さと伝統の両方の観点から根拠を示せたか。
- 100語の結論文で、立場と理由が明確か。

つまづきへの手だて

- 読むのに時間がかかる学生には、第2段落だけを先に読ませて論点を整理させる。
- 論点が出ないチームには、「休みの数」「女の子の気持ち」「家庭の行事として続く意味」の3つの観点を示す。
- 発言しにくい学生には、立論原稿を読む役を割り当てる。

発展

- このページの発展ワークシート（quiz・vocab・paraphrase）に取り組む。
- ひな祭りの記事の授業（ひな祭り vs. 世界の「女の子の日」）とつなげ、国際ガールズ・デーとの比較を加える。
- 台湾がかつて児童節を女性の日といっしょに祝っていたことを調べ、日本の「母に感謝する」との共通点を考える。

使う教材

- このサイトの英語ページの発展英文 Whose Day Is It?
- 記事「こどもの日の歴史」の節